

事業番号	10 03 11	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州の木自給圏構築事業			担当課	部局	林務部	
				課・局・室	信州の木活用課県産材利用推進		
総合5か年計画	プロジェクト	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり			E-mail	mokuzai@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	2 信州の木の利用促進			実施期間	H28 ~ H29	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-4 活力と循環の信州経済の創出					
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 イ 地域資源を活用した自立的な経済構造の構築 (ア) 地域資源の活用					

1 事業の概要

目指す姿	<p>力強い地域の林業・木材産業を再構築させ、森林資源を活かし続けながら森林づくりを進めるといった、地域の特徴を活かした資源の循環利用の仕組みを確立し、林業・木材産業が自立した産業となるために、各地域で生産される森林資源を効率的、安定的に供給し、有効に利用していく体制が整い、県内の森林から生産された木材は、カマツをはじめ多様な樹種を有する長野県産材ならではの強みや特長を活かす形で、建築用材やバイオマスエネルギーなど、様々な用途に利用され、地域の林業や木材産業、さらには木材利用産業での経済活動が継続的に活発に行われている。</p> <p>○全体目標：年間素材生産量750千m³(H32)、県産材製品出荷量237千m³(H32)、木質バイオマス生産量177千m³(H32)</p>											
現状 (予算編成時)	<p>○県内の森林資源は、先人の努力の賜により充実し、育てる時代から伐って使う時代に来ているが、近年では林業の採算性の悪化とともに、林業・木材産業の低迷が続いており、このままでは、今後の県産材需要に応えることができず、適切な森林施業も進められないといった状況に陥っている中で、現在県内では「信州F・POWERプロジェクト」をはじめ、木質バイオマス発電施設も各地域で計画され、また、他県での大型木材利用施設も稼働を始めていることから、県域及び各流域での森林・木材の自給圏づくりについての研究を進める必要がある。</p>											
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】									
成果目標・事業内容	県民との協働による実施：今後実施予定		木材関係事業補助金交付要綱(県)									
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)											
	<p>○流域別現況・ボトルネック調査 2流域</p> <p>○県産材製品出荷量124千m³</p> <p>○木質バイオマス生産量33千m³</p> <p>現状及び課題抽出、解決に向けた方向性を検討する調査対象流域を目標とする。</p> <p>また、木材加工施設整備、木造公共施設整備及び森のエネルギー総合推進事業の目標値を県内需給量として設定。</p>											
	② 事業内容 (単位：千円)											
	項目		実施方法	H28事業実績		H28	H29					
					(当初)	(決算)	(当初)					
森林、木材の自給圏構築に向けた調査・検討		直接	現状の検証とボトルネック等の発掘、自立に向けた方向性の検討を行うため、県域検討会と流域部会を設置し、木材自給圏構築にむけた方向性を検討	1,225	1,788	3,500						
		委託	<ul style="list-style-type: none"> 各流域の川上・川中・川下の林業・木材産業及び住宅等木材利活用産業の現状とボトルネック 他流域、他道府県での利活用等の動きと現在の対応 各流域の木材森林自給圏に向けた不足部分に係る整備の方向性 等の調査 松くい虫被害材を活用した低コストチップの開発 	6,221	5,476	8,970						
		合計		7,446	7,264	12,470						
事業コスト	区分(単位：千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29	
		当初予算		7,446	12,470				目標	成果	達成状況	目標
		補正予算				流域別現況・ボトルネック調査			2流域	2流域	達成	3流域
		合計(A)	0	7,446	12,470	県産材製品出荷量			124千m ³	113千m ³	未達成	150千m ³
	Aの財源	一般財源				木質バイオマス生産量	31千m ³	53千m ³	33千m ³	56千m ³	達成	122千m ³
		県債										
		国庫支出金										
		その他	0	7,446	12,470							
	決算額(B)		7,264									
概算職員数(人)		0.40	0.40									
概算人件費	0	3,166	3,166									
概算事業費(B(A)+C)	0	10,430	15,636									
目標に対する成果の状況	<p>木曾谷(木曾)流域・中部山岳(松本・北安曇)流域の流域別現況・ボトルネック調査については対象流域において、部会を設置し、各流域の現状、課題、課題解決に向けた方向性を検討した。</p> <p>整備方針に基づき、既存事業により解決する課題については集中的な整備を推進、既存事業では対応不可能な課題については、新たな施策による支援。</p>											

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<p>県内5流域を2ヶ年に分け現況等を分析することとしており、残りの3流域について、平成29年度においても加速化基金事業が利用可能となったことから、加速化基金を活用して事業を実施する。</p>